

2020年2月10日

スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材を育成
**2020年度YMFSスポーツチャレンジ助成
対象者(35件 総額3,030万円)を決定**

当財団(YMFS)は、2020年度YMFSスポーツチャレンジ助成制度の助成対象者を決定しました。本制度は「スポーツチャレンジ体験助成」、「スポーツチャレンジ研究助成」の二つのプログラムで構成され、2020年度は第14期生となります。

助成金額内訳は「スポーツチャレンジ体験助成」が17件・1,596万円、「スポーツチャレンジ研究助成」が18件・1,434万円となり合計35件・総額3,030万円になります。

なお、3月6日(金)に「2020年度(第14期生)助成金贈呈式」を千葉県内にて開催予定です。

2020年度スポーツチャレンジ助成の概要

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	55件	17件	1,596万円
スポーツチャレンジ研究助成	50件	18件	1,434万円
計	105件	35件	3,030万円

スポーツチャレンジ助成制度とは？

本制度の特徴は助成金贈呈だけに留まらず、PDCAサイクルを基調としたYMFS独自のサポートプログラムを通じて助成対象者の成長を支援することです。

※2020年度(第14期生)の活動期間は、2020年4月から2021年3月です。

<YMFS独自のサポートプログラムについて>

- スポーツチャレンジャーズミーティング(3月):活動開始に先立ち、対象者が一堂に会して、前年度対象者による成果報告や講演会等を通し、自身のチャレンジ意欲を高める機会を提供。
- 四半期報告(3ヶ月毎):活動報告に対し個別にアドバイスを返す事で各人の活動をフォロー。
- 中間報告会(10月予定):半期経過時点の振り返りと残りの期間に向けたアドバイスを提供。また、座談会を併催し共に「語り」「学び」「考える」事を通して目標達成の糧とします。
- スポーツチャレンジャーズミーティング(翌年3月):一年間におよぶチャレンジの集大成として成果報告を行い、助成対象者同士がお互いを刺激し次へのチャレンジへ英気を養う場として開催。

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: ^{みすみ}三角)

2020 年度(第 14 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2020 年 2 月 1 日現在)

- ・「体験助成」はアスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3つのカテゴリーで構成されています。
- ・国際レベルでの実績を有する選手等が対象の「アドバンスド(上限 150 万円)」、国際レベルでの活躍を目指す「ベーシック(上限 100 万円)」、ジュニア世代の国際大会で実績を有する「ジュニア(上限 50 万円)」があります。

区分	氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
ジュニア	おた かえで 太田 楓 (14)	近代五種/選手	近代五種で、根室初のオリンピック選手になる！	根室市立光洋中学校
	きたがわ ゆういちろう 北川 雄一郎 (17)	パラ卓球/選手	国際クラス別パラ卓球選手権大会で優勝する。海外試合で勝利し、ランキングを上げパラリンピックを目指す	兵庫県立赤穂高等学校
	さいとう しょうた 齋藤 彰太 (15)	カヌースラローム/選手	カヌースラローム C-1 種目で、2020 年にナショナルチームに入りワールドカップを目指す	相模原市立相模が丘中学校
	まつもと りゅう 松本 龍 (17)	フェンシング/選手	2024 年パリオリンピックに出場する為にシニア・ジュニア国際大会に参加し、世界ランキング向上を目指す	東京都立王子総合高等学校
	むらた のあ 村田 希空 (17)	スノーボード・アルペン/選手	アルペンスノーボードでワールドカップ出場を目指す。経験を積み世界で勝負	近江兄弟社高等学校
	もりや たくみ 守屋 拓海 (13)	ウインドサーフィン/選手	ウインドサーフィン/フリースタイルに於いて、ワールドカップに参戦し、ジュニアクラスで優勝を目指す	浜松市立庄内学園
ベーシック	いど あびげい 井戸 アビゲイル風果 (18)	陸上(短距離)/選手	日本女子初の 10 秒台をだすべく、自身の身体的特性を発揮する走りを見つける	至学館高等学校
	うえむら ゆうき 上村 勇貴 (25)	パラ陸上(中距離)/選手	知的障がい者男子 800m で、自己記録更新と国内 WPA 公認大会で優勝	日本知的障がい者陸上競技連盟
	きのした りん 木下 凜 (18)	スケルトン/選手	スケルトン世界一の選手になる。2022 年北京五輪入賞、2026 年五輪金メダル獲得！	明成高等学校
	さいとう はな 齋藤 華南 (17)	フェンシング/選手	2024 年パリオリンピック、2028 年ロサンゼルスオリンピックに出場し、メダル獲得！	秋田市立秋田商業高等学校
	しのはら りゅうすけ 篠原 琉佑 (18)	スノーボード・アルペン/選手	スノーボード競技アルペン種目ジュニア世界選手権大会で優勝する。及びオリンピックで金メダルを獲得する	東海大学付属諏訪高等学校
	ちとうしょ ひかる 地頭所 光 (23)	自動車レース/選手	世界最高峰の自動車レース、ルマン 24 時間レースで優勝	東京大学
	むらかみ 村上 レイ (16)	アイスホッケー/選手	北米ジュニアアイスホッケーリーグで活躍できる選手になるための挑戦	Rink Hockey Academy
アドバンスド	かみはし けいしん 神箸 溪心 (19)	スヌーカー(ビリヤード)/選手	スヌーカー世界チャンピオンへの挑戦～本場イギリスでプロへの扉を切り拓く～	日本スヌーカー連盟
	ほりしま いくま 堀島 行真 (22)	スキー(モーグル)/選手	フリースタイルスキーモーグル競技において、世界ランキング 1 位を目指す	中京大学
	ますだ ゆういち 増田 優一 (18)	自転車 BMX レース/選手	5 歳から始めた BMX レースで、パリオリンピック金メダルを獲る	大阪借星学園高等学校
	やまもと そうた 山本 草太 (20)	フィギュアスケート/選手	フィギュアスケート競技での北京オリンピック出場を目指す	中京大学

2020年度(第14期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2020年2月1日現在)

・「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2つのカテゴリーで構成されています。

・それぞれ、研究職として活動に従事する研究者を対象の「基本(上限 120 万円)」、大学院博士課程に在籍中または学位未修得の若手を対象の「奨励(上限 60 万円)」があります。

区分	氏名	分野	チャレンジテーマ	所属
奨励	いちのせ ほしぞら 一瀬 星空 (27)	自然科学	身体運動に適した脂肪組織の身のまとい方:人間の至適組織を探る	早稲田大学 スポーツ科学学術院
	しらい たかなが 白井 隆長 (28)		運動効果を打ち消さない異なる様式のトレーニング実施順序の考案	筑波大学大学院
	たかはし かつき 高橋 克毅 (24)		拡散テンソル画像を用いた筋形状測定法の確立	同志社大学大学院
	たなか たかひろ 田中 貴大 (27)		ヒトがイルカのように泳ぐためには? -ドルフィンキックの体幹動作に着目して-	立命館大学大学院
	なかしま ひろたか 中島 大貴 (29)		野球の投球における"キレ"のある変化球とは何か?	中京大学大学院
	やまぐち けいいち 山口 慶一 (24)		暑熱・低酸素環境でのスプリントトレーニングの効果	立命館大学
基本	うえだ まり 上田 麻理 (39)	自然科学	スポーツ競技力向上のための聴能訓練システムの開発と評価	神奈川工科大学
	うえはら かずまさ 上原 一将 (36)		アスリートの卓越した speed/accuracy tradeoff 機能を支える脳内神経基盤の解明	自然科学研究機構 生理学研究所
	さど なつき 佐渡 夏紀 (28)		慣性特性からみたスプリンターの身体的特徴の解明:身体の動かしやすさに対する人間の適応可能性に迫る	早稲田大学 スポーツ科学学術院
	たなべ ようこ 田名辺 陽子 (33)		皮膚間質液を用いた筋損傷評価法の検討 -即自フィードバックを目指して-	筑波大学
	どい ひろかず 土居 裕和 (40)		ターゲット捕捉の成功率を高める視覚情報処理ストラテジーの解明	国土舘大学
	ますだ かずと 増田 一太 (40)		自転車ペダリング動作における効率的なクランク長の考案	国際医学技術 専門学校
	やまなか ゆうじろう 山仲 勇二郎 (40)		光と運動による生物時計調節メカニズムの解明:運動による効果的な生体リズム調整法の開発を目指して	北海道大学大学院
よしはら としのり 吉原 利典 (34)	女性のトレーナビリティを決めるのは遺伝よりも環境なのか? -基礎的研究からのアプローチ-	順天堂大学		
奨励	さとう ふゆか 佐藤 冬果 (30)	人文社会	アウトドアスポーツを教材とした大学体育による Self-authorship 育成の試みと発達過程の検討	筑波大学大学院
	しらいし ともや 白石 智也 (27)		開発途上国における体育教員研修モデルの開発	広島大学大学院
	みに しのぶ 三谷 舜 (25)		なぜ軟式スポーツは戦後日本において展開したのか?:スポーツ価値の多様性に関する文化社会学的研究	立命館大学大学院
基本	うえた しゆん 植田 俊 (36)	人文社会	スポーツにおける〈視覚〉の社会的構成に関する研究 -ブラインドランナー -伴走者関係と相互作用に着目して-	東海大学